

Network9

東京教区教化委員会報 ネットワークナイン



2020年7月号 No.360

Network9

東京教区教化委員会報 ネットワークナイン

2020年7月号 No.360

表紙 「かぞく」

河村 桜子 [練馬和光保育園]

東京教区教化委員会報 ネットワークナイン

発行日 2020年7月1日

編集 教化委員会広報・出版部門

『ネットワークナイン』班 編集員

総編集長：本田 彰一（東京1）

チーフ：朝倉 俊隆（東京5）

佐々木誠信（東京4）五島 大地（東京8）中村 晃（茨城1）大山 信敬（茨城2）

チーフ：田上 翼（茨城1）

坂東 性悦（東京2）平松 正宣（東京3）櫻田 純（東京6）秦 顯生（湘南）

チーフ：鶴川 卓史（湘南）

内藤 友樹（東京1）渡邊 尚康（東京3）田宮 真人（東京8）相馬 法道（茨城1）

発行 真宗大谷派東京教区教化委員会

〒177-0032 練馬区谷原1-3-7東本願寺真宗会館

TEL. 03-5393-0810 FAX. 03-5393-0814 Email. nw9@ji-n.net

ご意見、ご感想は上記連絡先までお願いします。

もくじ

本願に生き、ともに育ちあう保育

●03 (公益社団法人 大谷保育協会)

●08 法語ポスター

教区教化通信 広報・出版部門

●09 合同内部研修会 本田 彰一

はい！こちら真宗会館です

●12 駐在日記 渡邊 誉

はい！こちら真宗会館です

●13 所員のつぶやき 金井 隆之

●15 敬弔・涌 鞠川 卓史

本願に生き、 ともに育ちあう保育

東京教区報恩講において、真宗会館内の通路に展示された園児たちの絵画



五島満さんと
「銀の鈴幼稚園」の園児

今号より公益社団法人・大谷保育協会（以下協会）東京支部加盟園に在籍する子どもたちが描いた絵画を表紙画として掲載させて頂くことになりました。子どもたちの心象がいきいきと発露しているこうした作品は、どのような“場”において描かれているのでしょうか。今回は、「銀の鈴幼稚園」の園長で、協会副理事長、東京支部長である五島満さん（東京8組 淨行寺）にお話を伺いました。

子どもは、紙や木や砂や粘土、クレーパスやクレヨンといった様々な素材に触れて刺激を受けながら、自身の“見えない心”を素直に表現します。

子どもが描く絵にも、その子の抱えている内面が表れると言われています。その時に感じている喜びや不安や窮屈さなど、実にいろんなことが表出し、色や形、線や構図になっているのです。

子どもたちの絵を見る際に、「上手い」とか「下手」ということよりも、そういう部分を見ておられる方も多いのではないかでしょうか。絵を描いた人の見えない心を、絵を見る人が受けとめていく。これが「絵」というもののコミュニケーションなのだと思います。

毎年、教区報恩講の期間中には真宗会館内の通路において、協会の加盟園に通う子どもたちの絵画を多数展示させて頂いております。あの場には東京支部の全加盟園が出演しているわけではありませんが、たくさんの方々に子どもたちの素直な表現に触れて頂ける貴重

子どもの絵



な機会であると考えています。

あの展示について課題を一つ挙げるならば、それぞれの園が絵のテーマを設定することにより、表現が少しだけ画一化・均一化してしまっていることです。みんなが同じテーマで絵を描くと、もちろん子どもたち一人ひとりの表現は異なっているのですが、どうしても一見似通つたものに見えてしまうからです。

しかし、この点についてはこれから改善していく部分だと思っていますし、こうして教区広報誌の表紙に絵画を載せて頂くことも含めて、より多くの人に子どもたちの表現を実際に見て頂くということは、やはりとてても有難いご縁だと感じています。

大谷保育協会は、1949年に蓮如上人の四百五十回御遠忌をお迎えするにあたり、宗祖親鸞聖人の教えに基づく真の人間教育“真宗保育”を実践するために創立されました。



真宗保育とは



私の思う「真宗保育」とは、まず「大人と子どもを超えて、子どもを一人の“人”として見る」ということです。これは特別なことはなく、本当はすべての保育や幼児教育、学校教育にも通じていなければならないことで

経典には「無上尊」という言葉があります

が、この「みんなを尊い存在として見る」ということが、真宗保育の根底にある大きな心です。保育者と子、親と子、保育者同士も親

同士も、子どもを取り巻くすべての人たちみんなが、それぞれの立場を超えて、子どもといっしょにいられる喜びの中から“本物”を見つける。生きていることの楽しさや意味を見つける。生きていることの楽しさや意味を見つける。そのような當みを真宗保育と呼んでいます。つまり、これは単なる方法論ではありません。幼稚園や保育園、こども園の園長や保育者たちに、いつでもその心に抱いてほしい“子どもへの思い”なのです。

また、子どもの主体性や自発性を尊重して「子どもの立場に立つ」ということが、保育

や教育の現場において大事なことであると思います。しかしながら、そのことを私たち大人は自らの都合で見失いがちです。何をするにも大人主導でやつた方がはるかに簡単ですし、子どもたちの主体性を基にして物事をつくるということが、どれほど難しいことであるかは、現場に立つ私たちも実際にやってみて痛感しています。

それでも、子どもの「やりたいな」という気持ちをどのように具体化していくのかを大人の都合を超えて考えていく。実はそれが、子どもにはもちろん、大人にとつても非常に大切なことなのです。



協会の理念

大谷保育協会は、70余年の歩みのなかで、総合テーマに「ともに生きともに育ちあう保育を実践しよう」を掲げ、「本願に生き、ともに育ちあう保育」という理念のもと、保育者を対象とした研修の充実をはかるなど、真宗保育の実践を深めてきました。

そして何より、真宗保育という営みの中心は、「すべての人は無上に尊い」と願つてくださる阿弥陀さまに手を合わせることです。子どもたちにその意味がどのように伝わるかはわかりませんし、あまり大仰に「幼児教化」などとは言えないのかも知れません。しかし、子どもは頭^ノなしに言葉で伝えられるよりも、形から入ることで、自分を掘り起こしていくのではないでしょうか。



協会の加盟園では毎日、保育者も子どもたちもいつしょに阿弥陀さまに向かって合掌する。ともに「なむあみだぶつ」とお念仏を称える。これが真宗保育独自の形であると同時に、最も根本的なといふだと言えるでしょう。

理念のはじめに「本願に生き」とあるように、「あなたはあなたのままでいいんだよ」と遊ぶ姿そのものを通して語りかけてくれる、

そういう子どもといっしょにいられるということ。それは、私たち大人にとっては「ああ、生きているって、こういうことなんだな」と「本当のこと」に出遇っていく縁に他なりません。

そして、そういう子どもの姿というのは、ここまでお話ししてきたように、子どもたちの喜びや主体性といったものが尊重されて、子ども自身が安心していられる場でなければ生まれてこないものもあるのです。

国が定めている言葉にも「幼児教育や保育は『環境』を通して行うもの」とあります。

協会の総合テーマと真宗保育理念に共通して「ともに育ちあう」という言葉があります。『ともに』というのはまず、先述したとおり「大人も子どもとともに」ということです。それでもう一つ、「いま目の前にいる子どもとともに」という意味があります。



歌を歌う場合もそうですね。「歌えたらいい」というものではない。歌って、歌の中にある歌詞にお互いの心が触れ合つたり、そこに出てくる登場人物でいつしょに遊んでみたり。そういうこととの組み合わせが、子どもと大人の間に共感を生むのです。それが大きな「どもに」であり、その共感の中で子どもも大人も「自分は自分のままなんだな」と、解放されるのではないか。

そういった「遊びの力」とも呼べるものを、いろんな場面で提供していくのが幼児教育や保育なのだと思います。子どもがやっていることを見て、その子の姿から「ああ、この子はこういうことで困っているんだな」とか、「この子はこういうふうに喜びを感じているんだな」というようなことを、生活のありと

ともに育ちあう

例えば、絵本は単なるテキストではなく、絵本を読む人がいて、みんなでその声を聞くという環境が大切なのです。砂場でいえば、砂だけを教材にするのではなく、あくまでも砂という素材を介して、お友達や保育者と共同で考え合つたり、何かを形作つたりしていく。「遊び」を通してお互いが遊び合つていく。子どもだけではありません。保育者もまた、子どもといっしょに遊び合います。

歌を歌う場合もそうですね。「歌えたらいい」



あらゆる場面でともにしていく。

この点については、各家庭における子育てでも同じことが言えるのかも知れませんが、幼稚園や保育園、子ども園ではそれを集団の中で、ある程度まとまつた数の人たちと分かれています。この部分が家庭とは大きく異なっていますし、その“分かれ合”う”というところに、大きな学びが出てくるのだと思います。

保育者の眼



私たちが今後も注力していく根幹事業は、やはり研修です。保育心理士の講座も含めて、幼稚園や保育園、こども園の保育者たちを対象とした各研修会を開き、それらを通して実際に現場で活かせる具体的な学びを提供しています。しかし、「現場で活かせる」とは言つても、単にノウハウを学ぶわけではありません。

先の話にも通じてきますが、仮に「絵本」というテーマで研修を行う場合、絵本の上手な読み聞かせ方を覚えて帰ればいい、ということではないのです。重要なのは読み方ではなく、読んでいる絵本の向こうにいる子どもなのですから。

東京支部における直近の研修会は「遊び」がテーマでした。子どもが遊んでいる姿を動画で見ながら、「いまこの子はどういう気持ちで、どういう経緯でこうなつて、次にどんな行動を取ろうとしているのだろう」といったことを、受講者はグループに分かれてディスカッションし、そこで出てきた意見をまとめ

て最後に発表するという形で行わされました。

保育者は子どもの遊び方をひと目見た時点での直感的にその遊びの動機や経緯をくみ取り、その後どう展開していくのかを予測する必要があります。これは決して「分析」ではなく、「大きな流れと見通しのなかで子どもを見る」ということです。

保育心理士とは

発達に課題を抱える子どもやその保護者への向き合い方、心のケアまで視野に入れた専門的な資格。大谷保育協会が作った制度で、協会への加入・未加入を問わず誰でも研修会を受講することができ、現在全国に約2千人の登録者を擁する。5年ごとの有効期限を設け、資格更新を義務付けている。

取材／鞠川班

写真提供／銀の鈴幼稚園



大谷保育協会 教材紹介

うでわ念珠

大谷保育協会加明園にのみならず、全国の
寺院様より、子ども会における記念品など
で多く利用されご好評いただいています。

うでわ念珠 [大人] 青・ピンク



うでわ念珠[こども]青・ピンク



価格 各2000円(税込)
※2019年7月1日以降
価格を改定しました。

真宗保育ブックレット15

『「する」から「ある」へ～養育論の試み～』
芹沢俊介氏著

2015年に博多で開催された真宗保育研
修大会で記念講演をされた、芹沢俊介先生の
講演録。

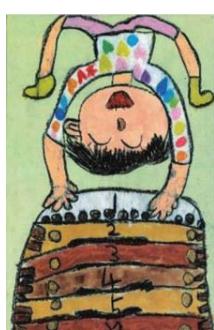
価格 350円(税込)

2021年版

しんしゅうこどもかれんだー

(秋ごろを発売予定)

価格 270円予定(税込)



しんしゅう
こどもかれんだー

2020.1~2021.3

しんしゅう
こどもかれんだー

真宗保育ブックレット16 『真宗保育をデザインするII －カリキュラム・マネジメントへの視座』

富岡量秀氏著

価格 300円(税込)
大谷大学教授富岡量秀先生が執筆された
「真宗保育をデザインする」の第2弾。

ほかにもたくさんのがあります
詳しくは公益社団法人 大谷保育協会へ

H P <http://shinsyuhoku.jp/>



T 600-8505

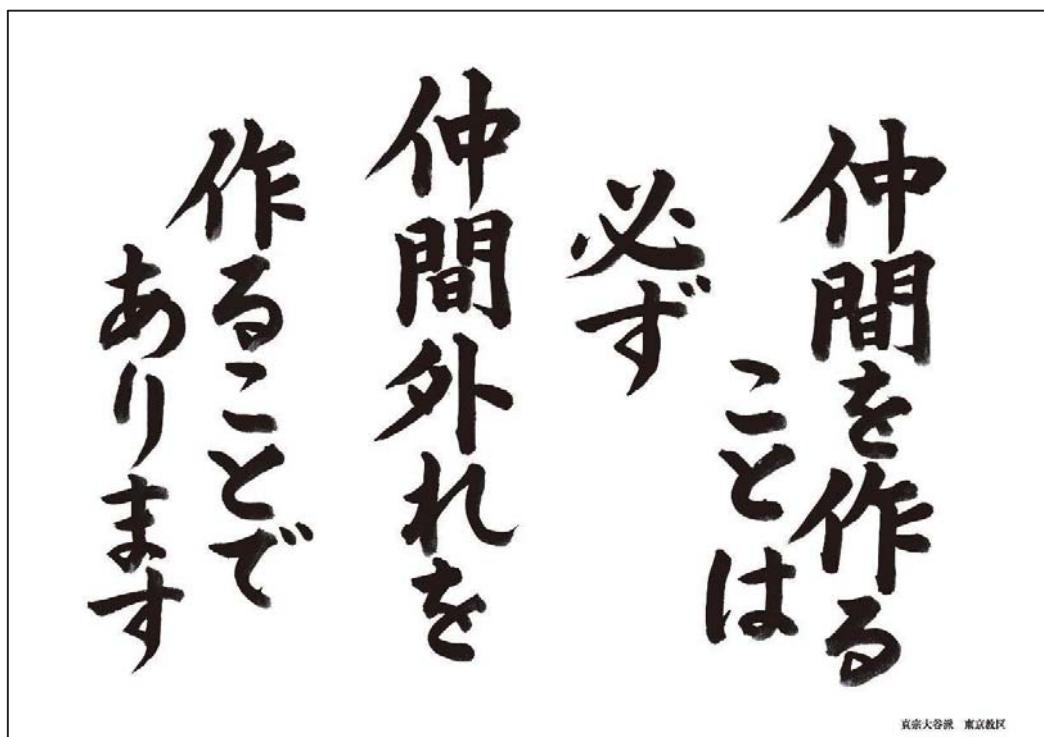
京都市下京区烏丸通七条上ル常葉町754

真宗大谷派宗務所内

電話 075-371-9207

大谷大学教授富岡量秀先生が執筆された
「真宗保育をデザインする」の第2弾。

今月の法語

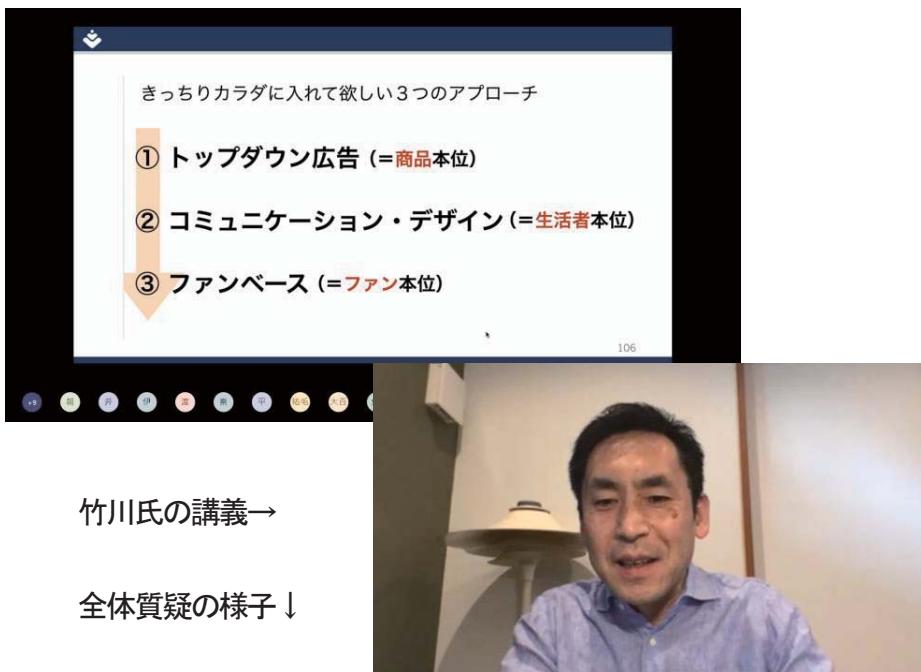


書：久萬壽 惠美（東京2組 林光寺）

- ・頒布中「掲示伝道用ポスター」(A2 サイズ)
「掲示伝道ポスターミニ」(ポストカードサイズ)
- ・「掲示伝道用ポスター」が貼れる門徒宅用掲示板を無償設置いたします。
詳細は東京教務所まで。

広報・出版部門 合同内部研修会（5月1日）

東京1組 本明寺 本田彰一



竹川氏の講義→

全体質疑の様子↓



また、地域・社会・そこに生きる人たちとの接点を構築することを念頭に置いて情報を発信しています。そのため「出版班」、「ネットワーク9」班、「ホームページ班」の3つの実行委員体制に分け、それぞれの特色を生かした活動をしています。そのため縦割りでの活動になり、広報・出版部門として一堂に会することはありませんでした。

この度は合同内部研修会として、竹川英紀氏（東京4組願正寺）をお招きし「コミュニケーション思考の基本」をテーマにお話しいただきました。当日は、新型コロナウイルス感染症拡大による緊急事態宣言発令中ということで、研修会開催の見送りも考えましたが、WEBを用いての開催はできないかと検討し、行なうことが出来ました。残念ながら広報・出版部門が一堂に会することはできませんでしたが、新しい形の研修会を開催でき、とても有意義な研修となりました。

なお、研修会の内容は次号以降の『ネットワーク9』にて報告予定です。

こんな時でも こんな時こそ 教えに出遇える

インターネット法話のご案内

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、各所での法座が中止になっております。また、「仏法には、明日と申す事、あるまじく候う。仏法の事は、いそげ、いそげ」（『蓮如上人御一代記聞書』）と申しますが、新型コロナウイルス感染症の影響により、法座へ足を運びにくくなっている現状です。

しかし、こんな時でも、こんな時こそ、教えに出遇えるご縁として、インターネットで法話を聴聞してはいかがでしょうか。今だから聞けるお話。今まで出会えなかった先生のお話。インターネットだからこそ、場所も時間も気にせずに聴聞することができます。これを機にぜひご利用ください。

	サイト名 真宗大谷派 東京教区「暮らしにじいーん」 リンク先 URL http://www.ji-n.net/
--	--

録音図書 聞いてらっしゃい



お坊さんの如是我聞（によぜがもん）



	サイト名 真宗教化センター「しんらん交流館」 リンク先 URL https://jodo-shinshu.info/
--	---

いま、あなたに届けたい法話



子どもたちと聞く法話♪



	サイト名 東本願寺「真宗会館」 リンク先 URL https://shinshu-kaikan.jp/
--	--

真宗会館 YouTube

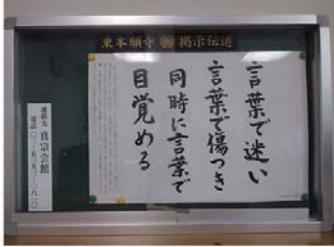


「門徒宅用伝道掲示板」設置の募集

東本願寺 掲示伝道

掲示板サイズ

高さ 58 cm
幅 87 cm
重さ 約 10 kg




ご自宅の坪等をお貸しいただける
ご門徒を募集いたしますので、ご協
力賜りますようお願ひ申しあげます。

内容

- ①教区教化委員会発行の法語ポス
ターや同朋大会等のポスターを
掲示していただきます。
(掲示物は教区から
送らせていただきます)
- ②掲示板は無償で設置いたします。
(教区が全額負担)
- ③お申し込み、お問い合わせは東
京教務所(担当・栗生)までご
連絡ください。




児童教化連盟
じれん
参加者・スタッフ
募集!!

春の遠足・夏のキャンプ・子ども報恩講を開催しています
また、児童教化に関する研修会(年2回)も行っています
お子様のご参加、スタッフとしてのご参加をお待ちしています



詳しい活動は
←QR(facebook)を
ご覧ください

お問合せは児連事務局まで

〔東京教区児童教化連盟 事務局〕
TEL 03-3623-1536
委員長 本田彰一(東京1組)
✉ tokyojiren@gmail.com

はい！こちら真宗会館です

駐在日記

駐在からひとこと

聖徳太子在世の「丁未の乱」、
仏教伝来と疫病の発生が重なり、
仏教禁止令が発令されたという。

新型コロナウイルス感染症拡大の影響で出勤は平時のころの半分になり、残りの半分は自宅待機をしている。外出は近くのスーパーマーケットとコンビニエンスストアだけにとどめている（5月23日現在）。

ところで緊急事態宣言が政府から出されると、あちこちで「暇だ」「退屈だ」という声をよく聞いた。もしかすると緊急事態宣言以前かもしれないが。

自宅待機要請により、止むを得ず、部屋に居ることが長くなり同じことを繰り返すうちに「暇だ」「退屈だ」と時間を持て余しての言葉であったのだと推測する。

病気疾患を抱えた方、医療従事者やライフライン等で不眠不休の業務に当たられている方もいることは周知のことである。

そんな中、ある歌の題を思い出した、それはシンガーソングライターの小椋佳が1973年にリリースした「ほん



東京教区駐在教導

渡邊 誉

の二つで死んでゆく」というタイトルのレコードアルバムの10曲目「暇つぶし以上に」という曲だ。

中学生の時に題名と共に曲を聴いた私は少なからず驚いた。そして当時、この歌を私に教えてくれたのが、手次寺の住職だった。

特に4番の歌詞が印象的に残っている「知ったかぶりした顔のうらで いつだって他人をせめている あなたが僕には悲しい」。サビの部分は「暇つぶし以上に何をしていますか」が繰り返される。実は住職は廣瀬晃氏から何かの講義の中で聞いたとも教えてくれたが、内容は覚えていない。「木戸を開けて～家出をする少年がその母親に捧げる歌」もその時講義の中に出て来たそうだ。

話を「暇つぶし以上に」に戻すが、「暇」「退屈」という裏側の「忙しい」とあまり変わりが無いように思っているが如何に。

はい！こちら真宗会館です



首都圏教化推進本部

推進要員

金井 隆之

担当：教化広報企画部門

好きな食べ物：ラーメン



自分は目が悪いので、コンタクトレンズを買うために定期的に検診を受けている。検診がある度に、自分の目が悪いことを再認識する。日常では朝起きてから寝るときまで、コンタクトレンズをしているため何の支障もない。だから、本当の自分は目が悪いということなど忘れてしまう。

試しにコンタクトレンズを外して外に出てみると、景色も人の表情もぼやけていてはっきりしない。今まで見てきた世界は変わらずに当たり前にあるのに不安になった。

自分の認識ひとつで、変わらずにある世界でも自分の感じ方が大きく変わるということを味わった。

そんな中、とある相談を受けた。その人は、仕事が終わってから家に帰り、子どもに夕食を作る。仕事から帰るまでの間メニューを考えている。しかし、子

どもは近所のおばあちゃん（家族）の家に遊びに行き、おばあちゃんから「夕食も食べていきな」と言われ、たびたび夕食をすませてしまう。相談者は、自分が考えていたメニューが崩れるため、勝手にご飯を与えるおばあちゃんにいらだっていた。「おばあちゃんはいったい何を考えているの？私への意地悪なのか？」と。

おばあちゃんは相談者に意地悪をしたくて子どもに夕食を与えていたのだろうか。そんなことはないと相談者も思っていたと思う。そんなこんなで最終的には「帰って夕食を作る手間が省けてむしろラッキーと考えられないか？」と伝えたとき、相談者は腑に落ちたようで、元気になった。

立ち止まる余裕がなく、見える世界が苦しくなることもある。一緒に悩みを考える僧侶がいることを伝えたい。

教区の情報をあなたに あなたの声を教区に!!

一緒にネットワーク9を作りませんか？
編集員募集中!!

Network 9

東京教区教化委員会報 ネットワークナイン

取材、原稿執筆、校正、デザインなど、紙面作りに関するすべてを行います。お寺の新聞やチラシを作る時のスキルも学べるかもしれません。パソコン初心者の方でも大歓迎です。先輩編集員が丁寧にご指導します。一緒に楽しいネットワーク9を作っていきましょう。

興味がある方、お問合せは東京教務所（担当：佐々木）まで

ネットワーク9へのご意見・ご感想をお寄せください
〒177-0032 東京都練馬区谷原1-3-7 東本願寺真宗会館内 東京教務所
【電話】(03)5393-0810 【ファックス】(03)5393-0814
【mail】nw9@ji-n.net



スマホやパソコンでぜひアクセスを！東京教区のホームページ

暮らしに
じいーん



www.ji-n.net

検索 暮らしにじいーん

お寺をもっと身近に

多彩なコンテンツ
じいーん散歩 (New)
しんらんさまめぐり
法話／行事・講座
なるほど仏事作法
寺院検索
他

うちのお寺も載ってる！



スタッフ募集

パソコン技術は不要です

ホームページ班のメンバーは僧侶に限らず、月に約1回のペースで集い、アイデアを出し合ったり、時には現地取材もしています。ぜひ一緒に活動しませんか？（お問合せは教務所／不動まで）

5月 敬弔

小笠原 恵子 様

湘南組 萬福寺 坊守

5月9日命終 86歳

井上 良 様

長野1組 養蓮寺 前住職

5月24日命終 87歳

岡本 晃英 様

茨城2組 光明寺 住職

5月28日命終 85歳

生前のご功労を偲び、
念仏合掌して哀悼の意を表します。

コロナウイルス感染拡大防止対策が叫ばれる中、「オンライン会議」「オンライン編集作業」など。パソコンに疎い私も貴重な経験をさせてもらっています。さらに、今号の特集記事では、オンラインによるテレビ取材を敢行。一気に飛躍してしまいました。

取材当日、初めての試みなのでスタッフと打ち合わせをするためアプリに繋げると、画面にはネクタイ姿のスタッフが映し出されました。私は「どうと、Tシャツ姿…。取材が始まつたら作務衣を羽織れば良いかと呑気に構えていたのです。「そうか、取材だものね」と笑つてごまかし、そそくさと画面から消え、シャツに着替えました。貴重な話を聞かせていただくのだから略すことなく、衣服を整えてきたスタッフに頭が下がりました。

そのことで、思い出したことがありました。法事の相談を受けていた時のこと、「近親者だけです、暑いでしようから平服で構いません」法事の相談を受けていた時のこと、「近親者だけです、暑いでしようから平服で構いません」

る中、「オンライン会議」「オンライン編集作業」など。パソコンに疎い私も貴重な経験をさせてもらっています。さらに、今号の特集記事では、オンラインによるテレビ取材を敢行。一気に飛躍してしまいました。

取材当日、初めての試みなのでスタッフと打ち合わせをするためアプリに繋げると、画面にはネクタイ姿のスタッフが映し出されました。私は「どうと、Tシャツ姿…。取材が始まつたら作務衣を羽織れば良いかと呑気に構えていたのです。「そうか、取材だものね」と笑つてごまかし、そそくさと画面から消え、シャツに着替えました。貴重な話を聞かせていただくのだから略すことなく、衣服を整えてきたスタッフに頭が下がりました。

涌 ゆう 編集員の随筆



んよ」と良かれと思い伝えたのですが、「ほー、それは画期的。最近はお寺さんも進化しましたね。時代ですね」と返されたのです。その場では、何とも思いませんでしたが、暫くして、衣服を正して法要に臨もうとする姿勢、そういうことを大切にしてきた思いをさらつと流してしまったのでは、と後悔しました。法要当日、礼服で参詣されて少しホツとしたことを覚えています。臨機応変さは必要かとは思いますが、近年、墓じまいや儀式の簡略化に拍車がかかっているのも、「何が大切なのか」ということを伝え切れない寺側にも問題があるのだと感じています。

今「オンライン法話」をはじめ、「オンライン法要」までも始められているようです。「こういう状況下だから」と略すのではなく、「大切なことを伝えたい」という思いが、オンラインを使って躍動し始めています。

(湘南組 正恩寺 鞠川 卓史)